

【平三郎請文】

へい さぶ ろう うけ ぶ み

(端裏書)「畠出 平三郎アカツキ 永徳元年西五月十三日」

辛

請申 私領畠之事

合老所者 字家里名、在所我家□

右、件畠者、平三郎私領也、領知多年之間、無他妨之、然而用途尅貫伍百文之方、此畠出申候、本文書可奉相副渡之處、令紛失間、新券文作進候畢、更不可有他妨之、但加地子者、坊料之参斗五升宛、毎年無懈怠可致其沙汰候、又此畠ヲ十ヶ年内可請取申候、若過十ヶ年候者、不可請取候、其時更一言子細不可申候、仍為後日、請文之状如件、

永徳元年(二三八一) 五月十三日 平三郎(略押)  
辛 西庄アヒツキ